

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	司法研究科
大項目	7 法曹に必要な資質・能力の養成
中項目	
小項目	7.0.1 法曹養成教育
要素	法曹に必要なマインドとスキルを養成する教育内容が、開設科目等の中で適切に計画され、適切に実施されていること。

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
				☆		
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
1. 新司法試験合格率を向上させる。	→本学の合格率と全国平均との比較			B		
2. 法曹外の法務関係業務への人材育成。	→法務関係(公務員、裁判所職員、企業法務等)への就職者数			C		

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2011年度司法試験の合格率は、前年より5.7%減の14.6%となり、全国平均合格率23.5%とかなりの開きがあった。全国平均合格率に到達することを旨として、教員は努力を重ねている。
☆ 目標2	本学修了生の法務関係(公務員、裁判所職員、企業法務部)への就職者数は累計で48名である。法曹外業務で活躍している修了生をパンフレットで紹介し、キャリアガイダンスでは法曹外業務の情報提供、カウンセリングを行っている。
備考	